

## 研究室の活動記録

### 異動

稲垣恭子教授

2020年9月30日付で教育学研究科を辞職され、同10月1日付で京都大学理事・副学長に就任されました。2021年3月31日付で教育学研究科での研究指導を終えられます。

#### 【略歴】

- 1978年3月 京都大学教育学部卒業  
1981年3月 京都大学大学院教育学研究科修士課程修了  
1983年3月 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程退学  
1983年4月 帝京女子短期大学 専任講師（～1985年3月）  
1985年4月 滋賀大学教育学部 専任講師（～1988年3月）  
1988年4月 滋賀大学教育学部 助教授（～1996年9月）  
1990年8月 英国ヨーク大学 客員研究員（～1991年6月）  
1996年10月 京都大学教育学部 助教授（～1998年3月）  
1998年4月 京都大学大学院教育学研究科 助教授（～2005年3月）  
2005年4月 京都大学大学院教育学研究科 教授（～2020年9月）  
2005年4月 放送大学 客員教授（～2011年3月、2017年4月～2021年3月）  
2006年8月 英国オックスフォード大学・ヨーク大学 客員研究員（～2006年12月）  
2014年4月 京都大学大学院教育学研究科 副研究科長（～2017年3月）  
2015年4月 京都大学教育研究評議会評議員（～2020年3月）  
2016年4月 京都大学教育学系 学系長（～2020年3月）  
2017年4月 京都大学大学院教育学研究科長・学部長（～2020年3月）  
2019年4月 国際日本文化研究センター研究部 客員教授（～2020年3月）  
2020年10月 京都大学理事・副学長（男女共同参画・国際・広報・渉外担当）  
京都大学経営協議会委員 京都大学教育研究評議会評議員

#### 【学位】

京都大学 博士（教育学）論教博第140号（2009年11月24日付 授与）

#### 【主要業績】

稲垣恭子，2007，『女学校と女学生——教養・たしなみ・モダン文化』中央公論新社。

稲垣恭子，2017，『教育文化の社会学』放送大学教育振興会。

稲垣恭子・竹内洋編，2002，『不良・ヒーロー・左傾——教育と逸脱の社会学』人文書院。

岩永雅也・稲垣恭子編，2003，『教育社会学』放送大学教育振興会。

稲垣恭子編，2006，『子ども・学校・社会——教育と文化の社会学』世界思想社。

- 岩永雅也・稲垣恭子編, 2007, 『新版 教育社会学』放送大学教育振興会.
- 稲垣恭子編, 2011, 『教育文化を学ぶ人のために』世界思想社.
- 稲垣恭子編, 2012, 『教育における包摂と排除——もうひとつの若者論』明石書店.
- 竹内洋・佐藤卓己・稲垣恭子編, 2014, 『日本の論壇雑誌——教養メディアの盛衰』創元社.
- 町村敬志・荻野昌弘・藤村正之・好井裕明・稲垣恭子編, 2015, 『現代の差別と排除をみる視点』明石書店.
- 稲垣恭子・内田良責任編集, 2018, 『教育社会学のフロンティア 2 変容する社会と教育のゆくえ』岩波書店.
- 稲垣恭子・岩井八郎・佐藤卓己編, 2018, 『教職教養講座 第12巻 社会と教育』協同出版.

岩井八郎教授

2021年3月31日付で、定年により教育学研究科を退職されます。

【略歴】

- 1979年3月 大阪大学人間科学部卒業  
1982年3月 大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了  
1986年3月 米国スタンフォード大学教育系大学院単位取得休学  
1986年3月 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学  
1986年4月 大阪大学人間科学部 助手（～1990年3月）  
1990年4月 大阪外国語大学外国語学部 助教授（～1991年3月）  
1991年4月 大阪外国語大学留学生日本語教育センター 助教授（～1996年3月）  
1996年4月 京都大学教育学部 助教授（～1998年3月）  
1998年4月 京都大学大学院教育学研究科 助教授（～2003年10月）  
2003年10月 京都大学大学院教育学研究科 教授（～2021年3月）  
2004年3月 ドイツ マックスプランク人間発達研究所 客員研究員（～2005年1月）  
2015年4月 放送大学 客員教授（～2019年3月）

【主要業績】

- 岩井八郎, 1990, 「高度成長期以後の学歴とライフコース」『教育社会学研究』46: 71-95.  
岩井八郎編, 1998, 『1995年SSM調査シリーズ13 ジェンダーとライフコース』1995年SSM調査研究会.  
岩井八郎, 2001, 「高齢者の社会的地位の転換——SSM調査による高年齢層の職歴・所得・家族に関する分析」『理論と方法』16(2): 211-227.  
岩井八郎, 2003, 「多様性の浸透——1960年代後半以降のプレップ・スクール」『京都大学大学院教育学研究科紀要』49: 46-68.  
岩井八郎, 2006, 「ライフコース研究の20年と計量社会学の課題」『理論と方法』21(1): 13-32.  
岩井八郎, 2008, 「『失われた10年』と女性のライフコース——第二次ベビーブーム世代の学歴と職歴を中心に」『教育社会学研究』82: 61-87.  
岩井八郎・近藤博之編, 2010, 『現代教育社会学』有斐閣.  
Hachiro Iwai, 2014, “Shrinking of the Japanese Uniqueness: A Quantitative Analysis of Life Course Changes,” Emiko Ochiai and Leo Aoi Hosoya eds., *Transformation of the Intimate and the Public in Asian Modernity*, Brill, 116-143.  
近藤博之・岩井八郎, 2015, 『教育の社会学』放送大学教育振興会.  
岩井八郎, 2018, 「アジアの家族変動と家族意識——東アジア社会調査(EASS)とアジア比較家族調査(CAFS)からみた多様性と共通性」『家族社会学研究』30(1): 135-152.  
岩井八郎, 2018, 「戦時期から戦後における高学歴層の流動性と戦後階層システムの形成——SSM調査の再分析から1940年代を読み直す」『社会学評論』69(3): 355-372.

伊達平和 日本学術振興会 PD

(受入先：京都大学大学院文学研究科 社会学研究室 落合恵美子教授)

2016年4月1日付で、滋賀大学データサイエンス教育研究センター助教に着任しました。

2017年4月1日付で、滋賀大学データサイエンス学部講師に着任しました。

2020年4月1日付で、滋賀大学データサイエンス学部准教授に着任しました。

佐々木基裕 博士後期課程

2016年4月1日付で、名古屋女子大学文学部講師に着任しました。

松谷実のり 日本学術振興会 PD

(受入先：京都大学大学院教育学研究科 教育社会学研究室 岩井八郎教授)

2017年4月1日付で、同志社大学グローバル・スタディーズ研究科助教に着任しました。

2020年4月1日付で、追手門学院大学社会学部准教授に着任しました。

高田満彦 修士課程

2017年4月1日付で、龍谷大学社会学部教授に着任しました。

井上慧真 博士後期課程

2018年4月1日付で、帝京大学文学部助教に着任しました(第18号既報)。

佐野和子 博士後期課程

2019年4月1日付で、日本学術振興会特別研究員(DC2)に採用されました。

(受入先：京都大学大学院教育学研究科 教育社会学研究室 岩井八郎教授)

椎名健人 博士後期課程

2021年4月1日付で、近畿大学教職教育部講師に着任予定です。

## 学位授与

### 2015 年度博士論文

伊達平和「現代アジアにおける家族意識の計量社会学的研究——東アジアならびに東南アジア  
7 地域を対象として」

博士（教育学）教博第 190 号 （2016 年 3 月 23 日付 授与）

### 2017 年度博士論文

井上慧真「『成人期への移行』支援に関する日英比較研究——社会関係資本の観点から」

博士（教育学）教博第 223 号 （2018 年 3 月 26 日付 授与）

### 2019 年度博士論文

濱貴子「戦前期日本における職業婦人イメージの形成と変容に関する歴史社会学的研究」

博士（教育学）論教博第 170 号 （2020 年 3 月 23 日付 授与）